



出番と居場所のある地域づくり！共生協働推進講演会

10月27日（日）、町中央公民館会議室において、『大崎町共生・協働推進講演会』が開催されました。

講演会には、自治公民館や公民分館、NPOなどの各種団体から28名が参加しました。

南九州市^{うえむらおさき}穎娃町の特定非営利活動法人福祉相談センターにじ代表上村修さんを講師に迎え、地域で見守りが必要な方や仕事中心で働いてきた男性の地域での居場所づくりなどの『男談事業』等について、多様な活動が紹介されました。

上村さんは、「一緒に活動を行うことで、50～60歳代男性の出番が多くなり顔を合わせる回数が増え、自治会の課題について議論する場ができました。」と話されました。



▲活動事例等について講演する上村修さん



大崎モデルを海外へ！

ごみ処理問題を抱えるインドネシア・デポック市（人口約180万人）から本町のリサイクルシステムを学ぶため、9月29日（日）～10月4日（金）、国際協力機構（JICA）の支援を受けて、今年度第2班目となるデポック市の関係者5名が来日しました。

ごみ減量化を目的とした『大崎モデル』を参考にデポック市内においても、ごみ分別等の排出・収集・運搬・処理のリサイクルづくりやリサイクル普及指導員の育成などについて町内の施設（中学校、リサイクルセンターなど）の研修・視察をしました。

最終日には今回の研修成果の発表も行われました。



▲研修・視察の成果を発表している様子



山あり谷あり笑顔で50年！合同金婚式

10月25日（金）、あすばる大崎において結婚50周年を迎えられた夫婦を祝う『大崎町合同金婚式』が開催されました。

今年金婚式を迎えられたご夫婦は、昭和38年にご結婚された方々で、当日は32組のうち24組のご夫婦が出席されました。

式典では、東町長からお祝いの言葉と記念品が贈呈されました。また、余興として大崎民舞会の踊りや健康体操グループによる舞踊が披露され、参加者全員で結婚50周年を祝いました。



▲結婚50周年を祝って万歳三唱を行う参加者